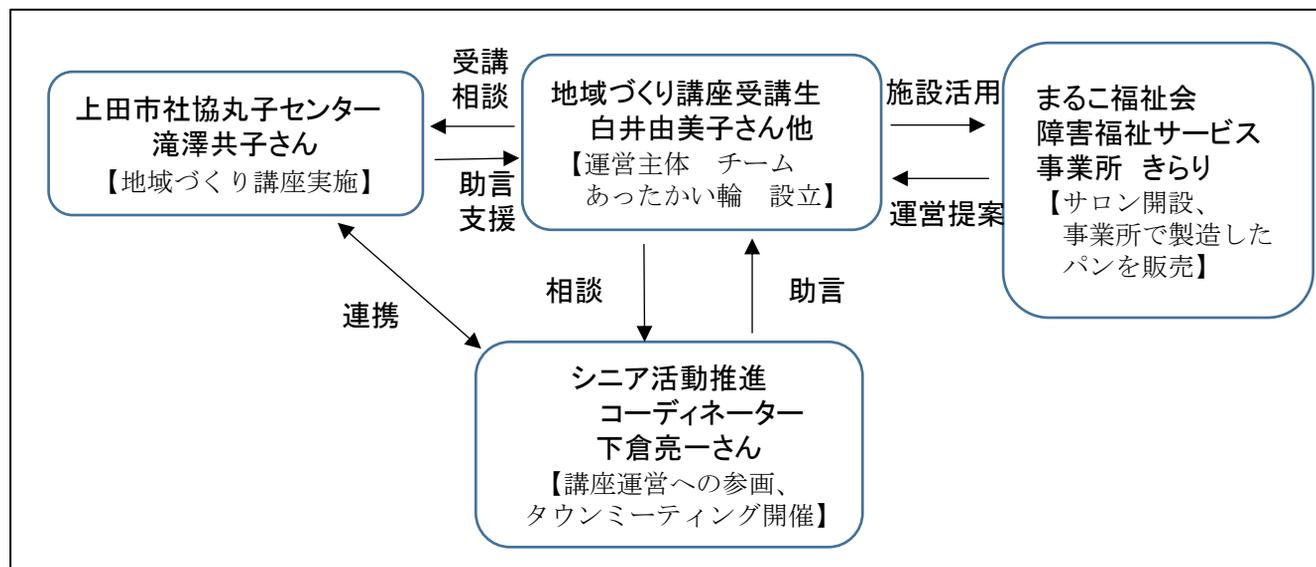


テーマ⑤: 地域の居場所(サロン)づくりの取組

取組概要	上田市丸子の障害者施設が介護予防に係る拠点整備の補助金を活用して地域交流スペースを設置するに当たり、上田市社協の「地域づくり講座」受講者が主体となって住民交流の場「あったかい輪」の取組を始めた。	
発表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上田市社会福祉協議会丸子地区センター ・ チームあったかい輪 会長(地域づくり講座受講者) ・ シニア活動推進コーディネーター 	<ul style="list-style-type: none"> 滝澤共子さん 白井由美子さん 下倉亮一さん



1 取組の背景

- 地域の高齢化が進む中、高齢者の交流の場がない。
- 障がい者施設ができたが、地域で孤立していた。
- 介護保険制度が改正され、市町村において地域支援事業として地域交流の場を設置していかなければならない。
- 住民主体の地域活動(社会参加)を促進させたい。



- ・ 障がい者施設の空きスペースを活用して、高齢者や障がい者が交流できるサロンを設置できないか。
- ・ 社協の地域づくり講座で学んだシニアの力を活かさないか。

2 取組を進める上での課題・対応

- 施設の整備 ⇒ まるこ福祉会が改装(国補助金を活用してリフォーム)
- 運営資金の確保 ⇒ 上田市わがまち魅力アップ応援事業補助金を活用
- 担い手の確保 ⇒ 地域づくり講座の受講者へ働きかけ

3 取組の経過

- H24年12月 障がい福祉サービス事業所 きらり 開所
(元スーパーの空き店舗を活用)
- H26年度～ 上田市社協が地域づくり講座を開設。「まちの縁側」について学習
- H28年1月 「タウンミーティングIN丸子」開催
テーマ「気軽に寄れる」居場所づくりのために」
- H28年10月 講座受講者が中心となり、「チームあったかい輪」設立
- H28年10月 サロン「あったかい輪」開設



4 成果

- 不特定の地域住民が日常的に集える空間ができ、高齢者や障がい者のみならず、子育て中の親子など幅広い交流が図られている。
サロン利用者 約30人/日
- 地域づくり講座でのシニアの学びが、社会参加活動の実践につながった。
サロンの運営に参画するシニア 23人
- 地元住民の参加につながってきた。

5 今後の課題

- 地元住民の理解を一層深め、活動に参加してもらうにはどうしたらよいか。
(特に若い方の参加)
- 活動に携わる人の高齢化が進んでいる。担い手の養成・確保をどう行うか。
- 運営費をどう継続的に確保するか。
- 利用者のニーズに沿った、より良い空間づくりをどう進めるか。